

# 家庭でできる！ ことばを育む関わり方

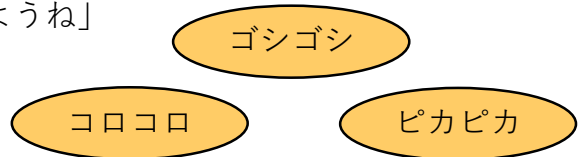
対象年齢：1歳半～3歳頃（発達段階にあわせて実施してください）

## 1. 分かりやすい言葉でゆっくりと話しかける

お子さんにとっては保護者の方の言葉が一番の学習材料となります。お子さんが聞き取りやすく、マネをしやすい話し方を意識的に使ってみましょう。

(例) 「くるまのおもちゃをおかたづけしようね」

→「ブーブーナイナイね」

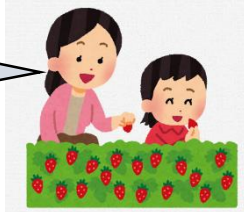


擬態語は覚えやすく発音しやすい

## 2. お子さんの好きなことに共感する

「ことばを教えよう」と頑張るよりも、お子さんの興味あるものに保護者が話しかければ、自然にことばと結びついていきます。

いちごは赤いね～  
おいしいね～



お子さん主体で会話をすることで、  
お子さんの「話したい」意欲を高  
めることに繋がります

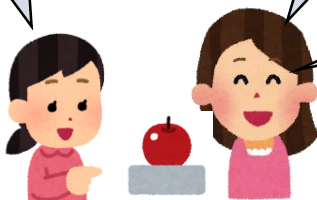
## 3. お子さんの表現を受け止める

お子さんが表現していることにゆっくり耳を傾けましょう。ことばが無く発声のみであってもお子さんの表現したいことをくみ取ったり、その発声をマネしたり、お子さんが身振りや指さしで表現したものに可能な限り対応しましょう。

あーっ

あーっ

リンゴが欲しい  
のかな？



このようなやりとりを通して、お  
子さんは自分が発したことにより他者  
が注目してくれることを学びます。  
これがことばによるコミュニケー  
ションの土台となります。